

科目名	臨床心理学Ⅱ					開講 キャンパス	神 埼
担当者	池 田 久 剛						
開講年次	2	開講期	後期	単位数	2	必修・選択	選 択
授業の概要 及びねらい	前期に学習した精神分析理論とクライエント中心療法の基礎概念に基づいて、それらの応用としての現代の理論や、臨床で要求されるより具体的な技法論等を概説し、さらに臨床心理学的アプローチについていかにそれらを統合したり、あるいは発展させていくかといった視点や、トレーニングについて解説する。また、臨床心理学においてはまず自分自身を知ることが必要であるので、自己表現のための課題を必要に応じて提供していく。						
授 業 の 到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 臨床心理学的アプローチの特殊性について理解する ・ 臨床心理学における話の聴き方、またその場面設定の意味などについて理解する ・ 治療者－クライエント関係において生じる互いの感情の特性について理解する ・ 精神分析やクライエント中心療法などの心理療法が、なぜ効果があるのかを考える ・ 様々な実践事例を理解する上で必要な、精神分析的な発達の見方について理解する ・ 臨床実践において出会うことの多い、発達障害や、不登校について、そのメカニズムや現象理解をうながす ・ 臨床心理学の中でも、児童を対象にしたアプローチの特徴について理解する ・ 精神分析やクライエント中心療法の新しい流れについて理解する ・ カウンセリングを行っていく上で、治療者として必要なトレーニングについて理解する 						
学習方法	テキストに基づいた講義を中心に行う。途中途中で理解度を問いながら進めるが、受講生からも質問等があれば積極的に取り上げたい。						
テキスト及び参考書等	池田久剛「カウンセリングとは何か [実践編]」 ナカニシヤ出版						
評価基準・方法	到達目標					評価割合%	
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現			
定期試験	◎	◎	◎	◎		60	
小テスト等							
宿題・授業外レポート							
授業態度	◎	◎	◎	◎		20	
受講者の発表							
授業への参加度	◎	◎	◎	◎		20	
その他							
合計							100
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画 (学習内容・キーワードとスケジュール)							
第 1 週	臨床心理学のアプローチ						
第 2 週	自由連想と解釈						
第 3 週	転移と逆転移						
第 4 週	治療機序						
第 5 週	精神分析的発達論						
第 6 週	発達障害						
第 7 週	不登校						
第 8 週	児童臨床						
第 9 週	対象関係論						
第 10 週	現代の精神分析						
第 11 週	現代のパーソンセンタード・アプローチ						
第 12 週	カウンセリング技法小論						
第 13 週	トレーニング						
第 14 週	現象学と間主観的アプローチ						
第 15 週	まとめ						
第 16 週							
備 考	・ 授業の前でも後でもよいので、テキストに目を通し、話の流れを理解すること。						